土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　国道182号　交通安全施設等整備事業に伴う業務委託(油木安田工区)

事業名 または 工事名　国道182号　交通安全施設等整備事業

調査目的及び調査対象　道路 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	R3Br-2	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町油木地内			**北緯**	34° 45′ 37.6670″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 11月　4日 ～ 2021年 11月　5日	**東経**	133° 16′ 52.1102″
調査業者名		**管理技術者**		**担当者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +496.80m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	5.00m					**使用機種**	**試錐機**：東邦試錐工業製DO-DLXSO型
							エンジン：ヤンマー製TF90M型　**ポンプ**：東邦試錐工業製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	495.80	1.00		玉石混じり粘土質砂礫		暗褐～黄褐灰				礫分は径2～100mm程度の角礫主体。粘土分を多く混入し、石分が多い部分と硬軟の差があり、孔曲がりしやすい。	
2	494.80	2.00		礫混じり粘土		暗褐		非常に軟らかい		粘土分主体。礫分は細礫、径10～20mm程度の亜円礫を混入。無水掘りにより深度1.67mで水位確認。	11/04 1.67
3	493.00	3.80		粘土質砂礫		褐	中ぐらい～非常に密な			径2～50mmの角礫主体。細粒分(粘土・シルト)を多く混入。深度3m以深は細粒分少なくなる。ケーシング挿入時に送水した水が一時的に漏水する。	
4	492.40	4.40		砂礫		緑青灰				コアは細片状に割れた岩片が多く、砂状や粘土状となる部分もみられるが、同質の岩片からなることから、チャートの風化帯と判定した。	
5	491.80	5.00		チャート		青灰				円形を保ちコア採取される。岩質自体は硬質であるが、層理面沿いに割れやすい。層理面と交差する方向に割れ目が発達し、指圧で崩せそうな状態の箇所がみられる。亀裂面沿いに褐色変色がみられ、部分的に粘土化する箇所あり。確認区間は風化部と判定した。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）：(1/350)　(11, 7, 7)　(30, 18, 2/20)　(50/40)　(貫入不能)

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1			1/350		
	1.50						
25	2.15	11	7	7	25/300		
	2.45						
68	3.15	30	18	2	50/220	220	
	3.37			20			
375	4.00	50			50/40	40	
	4.04	40					
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/4
					11/5